

東海経済レポート(2025年10月)

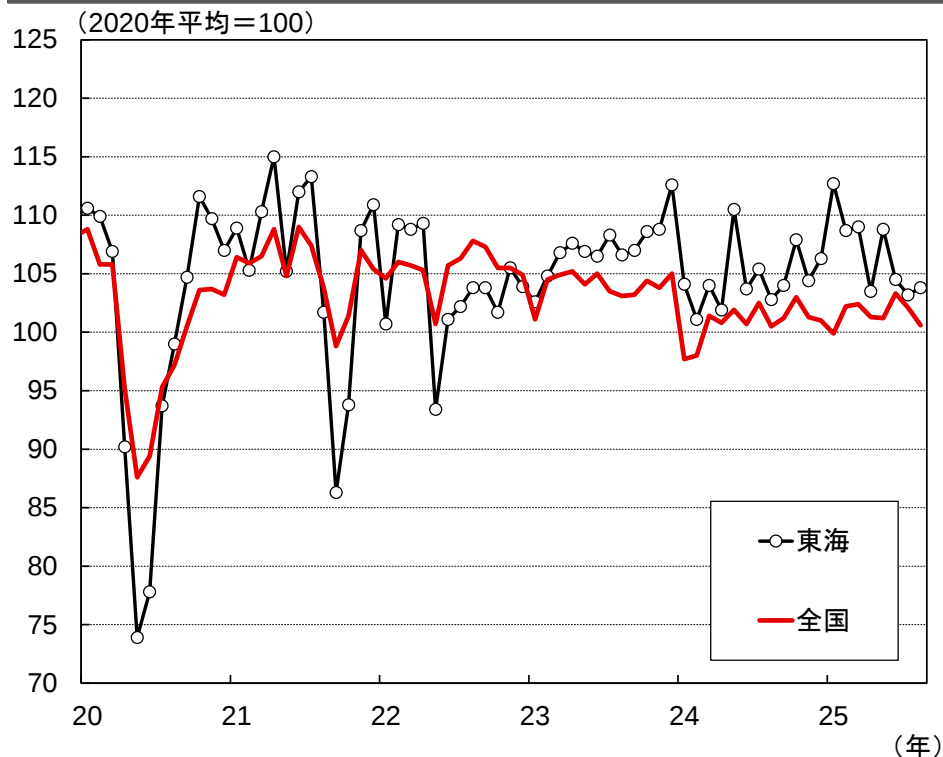
2025年10月24日

三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室(名古屋)

概況・生産

- 東海経済は緩やかな回復傾向を維持している。
- 製造業は、米国の関税政策の影響を受けつつも、自動車輸出は台数ベースで前年比大きな落ち込みはなく、足元までの生産面への影響は限定的とみられる。設備投資も堅調に推移しており、全体としての回復基調を継続。サービス業は、名目賃金が増加する中でも食料価格上昇などから個人消費は伸び悩んでいるものの、堅調なインバウンドもあり底堅さを維持している。
- 先行き、米国の関税政策に起因する海外経済の下押しなどにより景気の一時的な減速が見込まれるものの、企業収益が減益となりつつも相応の水準を維持する中、底堅い設備投資や人手不足を背景とした賃上げによる実質賃金の改善などを支えに、基調としての景気回復傾向は崩れないとみる。
- 8月の鉱工業生産指数は前月比+0.6%と3ヵ月ぶりに増加。業種別にみると、生産用機械(同▲7.8%)、電気機械(同▲3.1%)が減少した一方、電子部品・デバイス(同+12.0%)、輸送機械(同+2.8%)は増加。

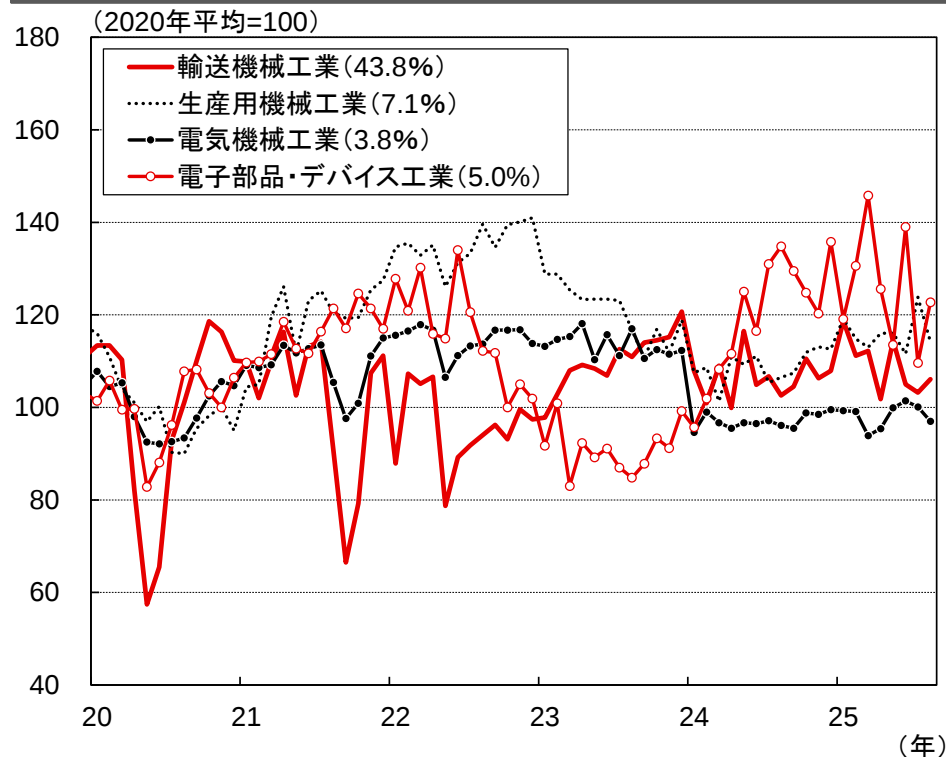
鉱工業生産指数



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。

(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

業種別の鉱工業生産指数(東海)



(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。

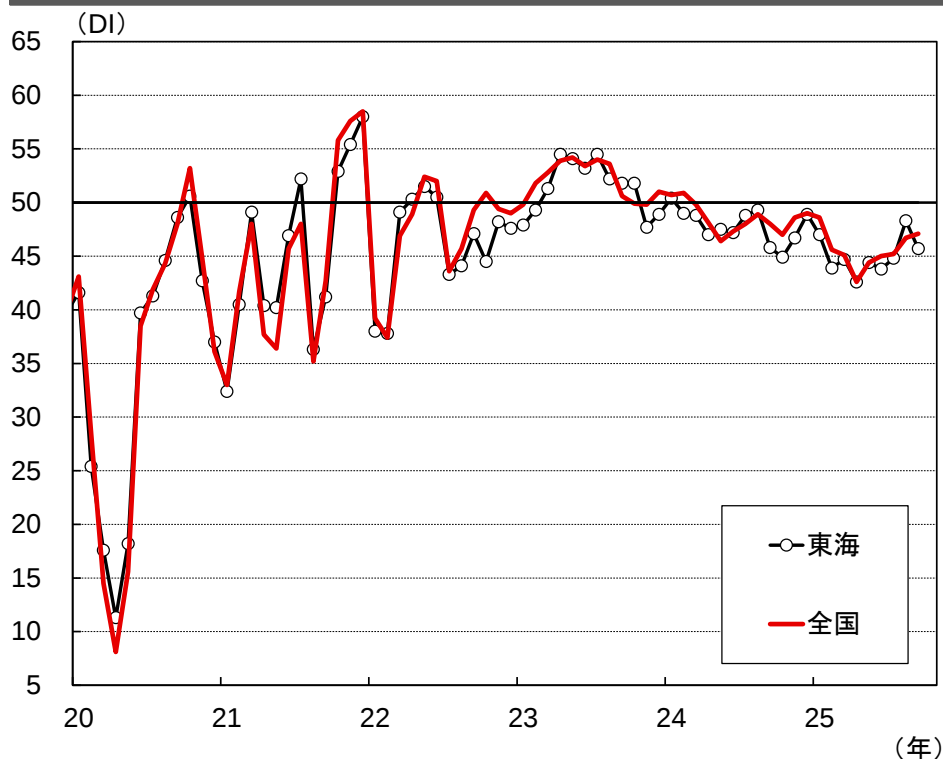
2. ()内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(2020年基準。中部経済産業局算出)。

(資料)中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

景況感・輸出

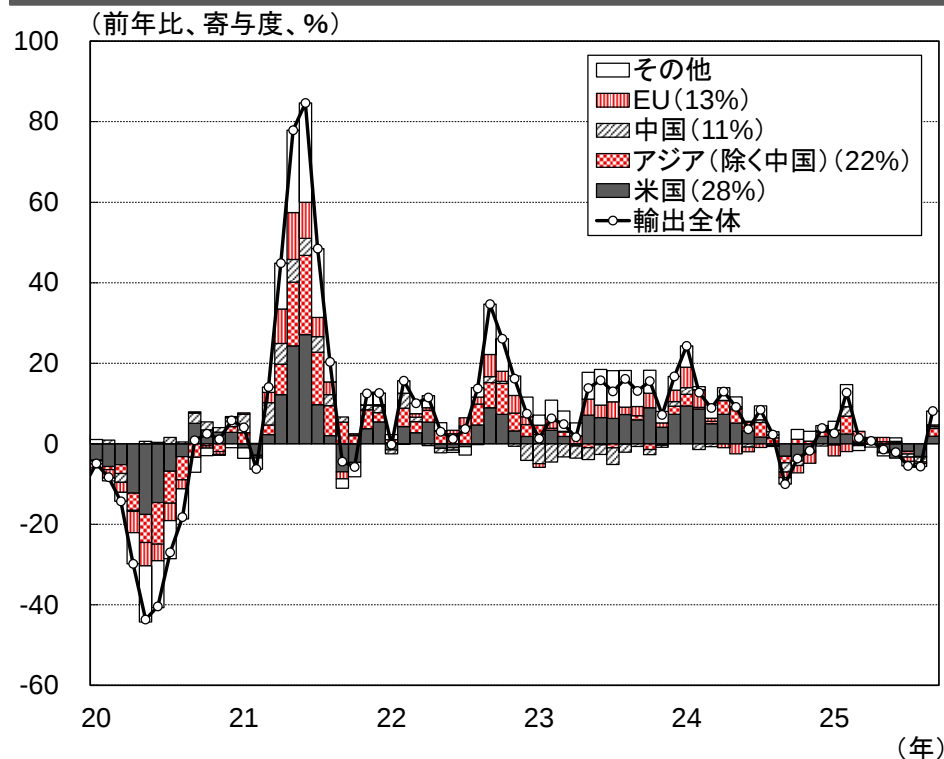
- 9月の景気ウォッチャー調査の現状判断DIは45.7（前月比▲2.6ポイント）と3カ月ぶりに悪化し、20カ月連続で50を下回った。物価高の長期化や、米国の関税政策が世界経済の成長を下押しするとの懸念などが引き続き景況感の重石に。
- 9月の輸出額（円ベース）は前年比＋8.1％と5カ月ぶりの増加。地域別では、アジア（除く中国）向け（同＋8.6％）、米国向け（同＋6.9％）、中国向け（同＋4.3％）、EU向け（同＋3.1％）がいずれも増加。品目別では、自動車部品（同▲2.8％）が減少した一方、自動車（同＋15.1％）、電気機器（同＋8.1％）、一般機械（同＋1.9％）は増加。

景気ウォッチャー調査（現状判断DI）



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。
(資料)内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

輸出額（東海）



(注)1.『東海』は名古屋税関管内（愛知、岐阜、三重、静岡、長野）。
2. ()内の数値は2024年輸出総額に占めるシェア。
3. EUの増減率は加盟国の増減を踏まえて算出。
(資料)名古屋税関統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

設備投資・機械受注

- 4-6月期の大企業の設備投資は前年比+7.4%と2四半期ぶりの増加。製造業、非製造業ともに2四半期ぶりの増加。
- 9月の全国の工作機械受注額は前年比+9.9%の1,377億円と3ヵ月連続で増加。内需は同+3.0%と6ヵ月ぶりの増加、外需は同+13.3%と12ヵ月連続の増加。

大企業の設備投資



(注) 1. 『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。

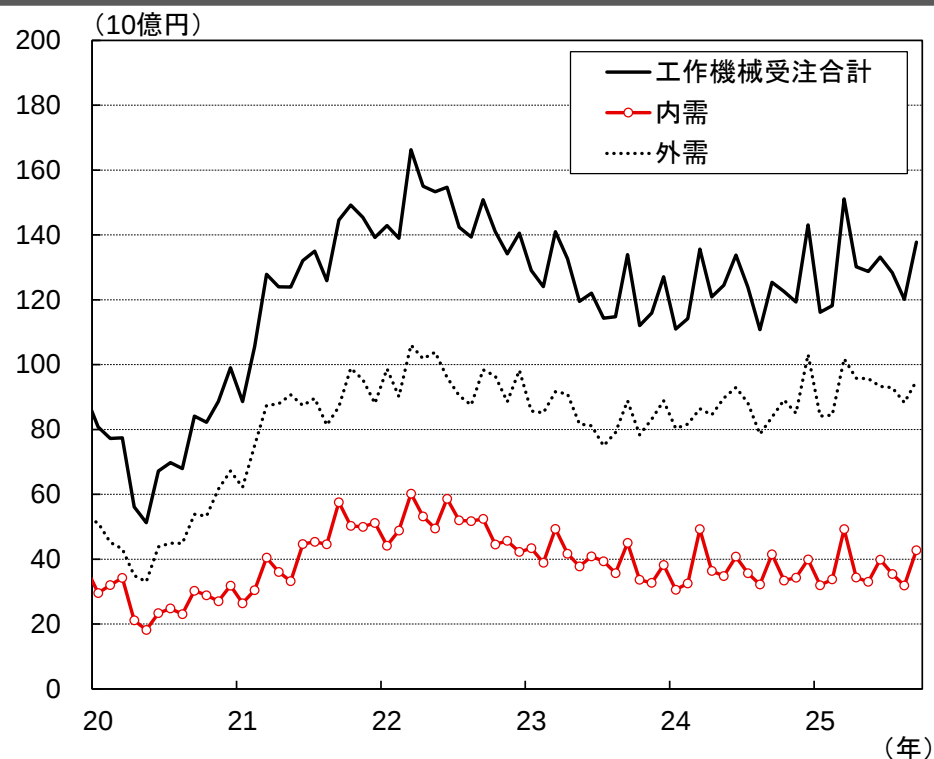
2. 資本金10億円以上の企業を対象。

3. 設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。

4. 1社あたり投資額は設備投資額合計を回答法人数で除して算出。

(資料) 東海財務局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

工作機械受注額(全国)

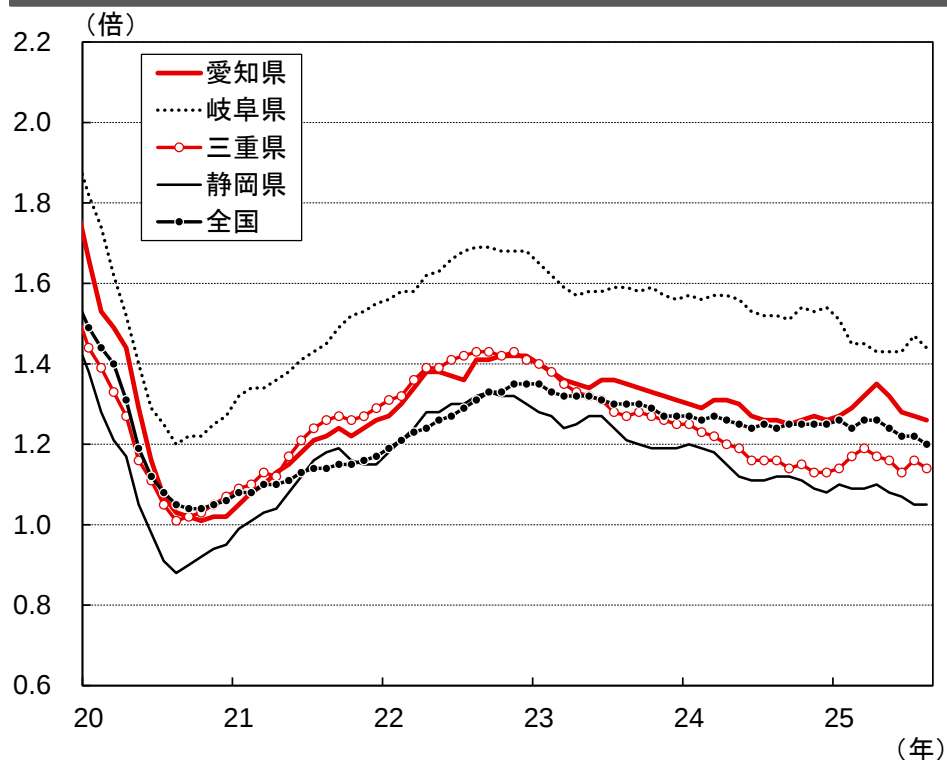


(資料) 日本工作機械工業会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

雇用・所得

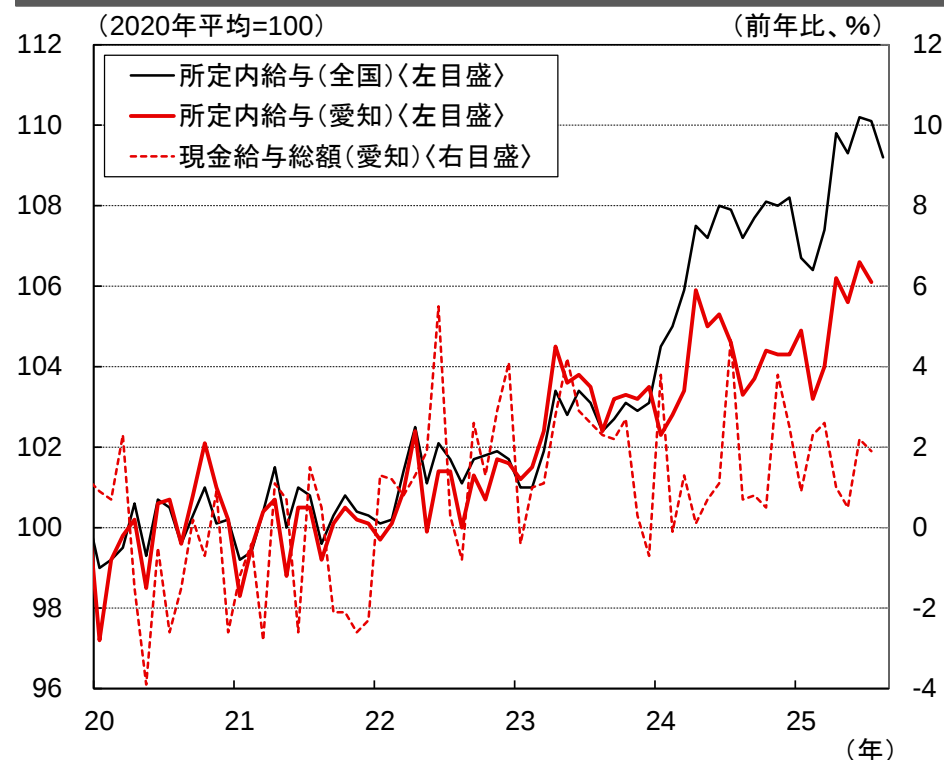
- 8月の有効求人倍率は、前月比で愛知県、岐阜県、三重県が低下、静岡県は横這い。愛知県と岐阜県は全国平均を上回って推移。
- 7月の現金給与総額(愛知)は前年比+1.9%と17ヵ月連続で増加。基本給(所定内給与)も増加基調で推移。

有効求人倍率



(資料)厚生労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

賃金の推移

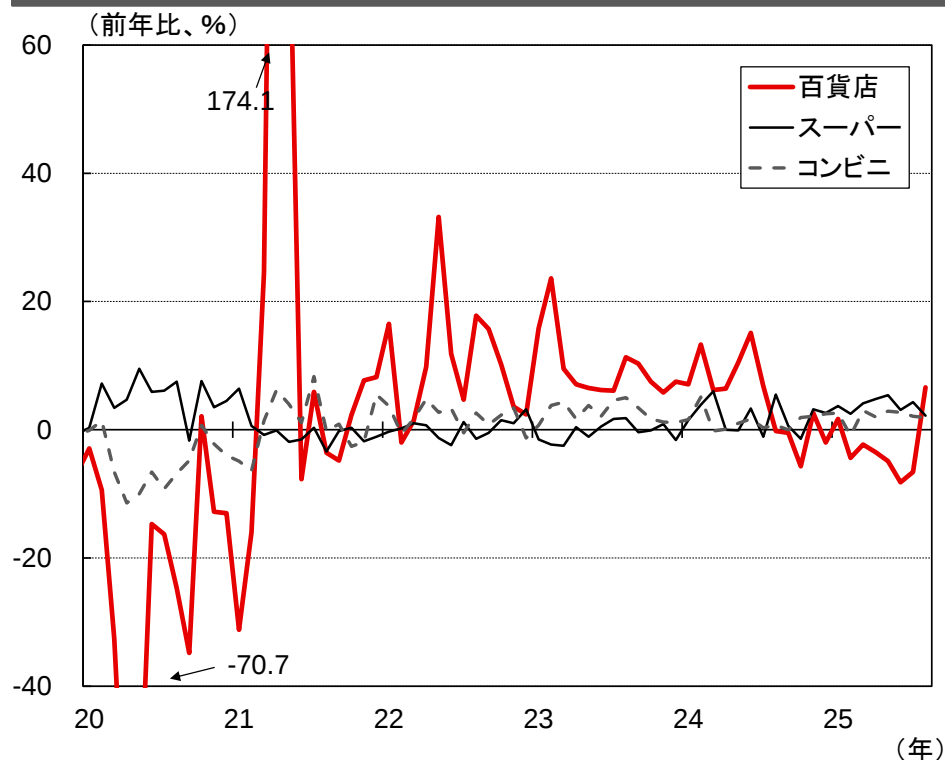


(資料)愛知県統計、厚生労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

個人消費・住宅投資

- 8月の小売主要3業態の販売額は、百貨店が前年比+6.6%、スーパーが同+2.2%、コンビニが同+1.9%といずれも増加。
- 8月の新設住宅着工戸数は年率6.9万戸、前年比▲9.1%と5ヵ月連続で減少。用途別では、分譲戸建て(同+7.9%)が増加した一方、分譲マンション(同▲26.7%)、貸家(同▲14.0%)、持家(同▲3.8%)は減少。

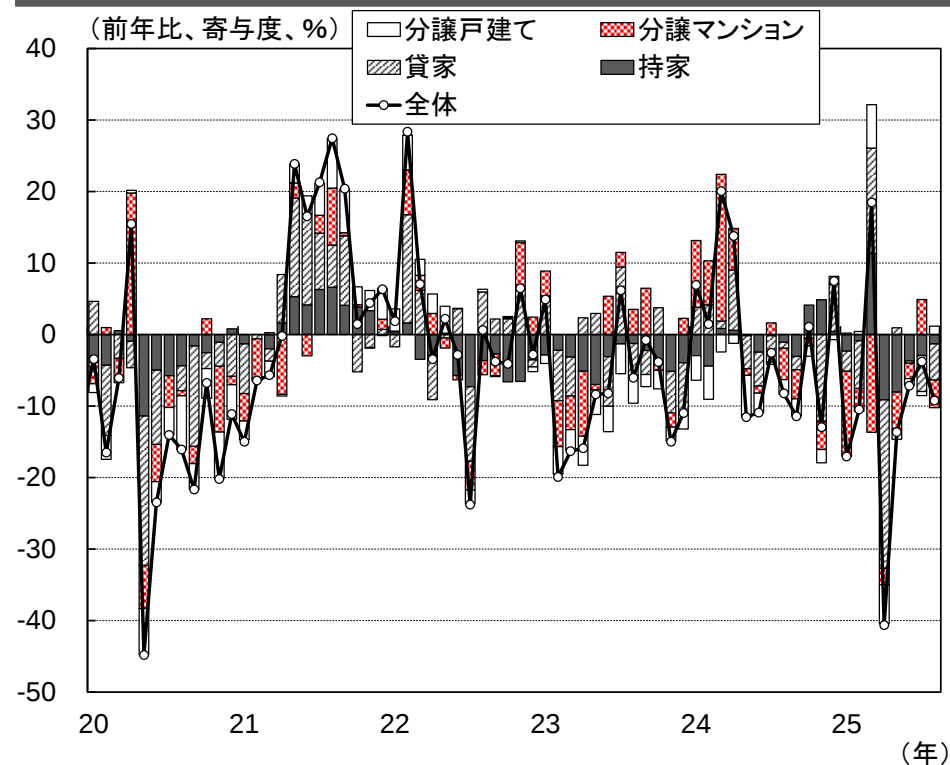
小売主要3業態の販売額(中部)



(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。

(資料)中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

新設住宅着工戸数(東海)

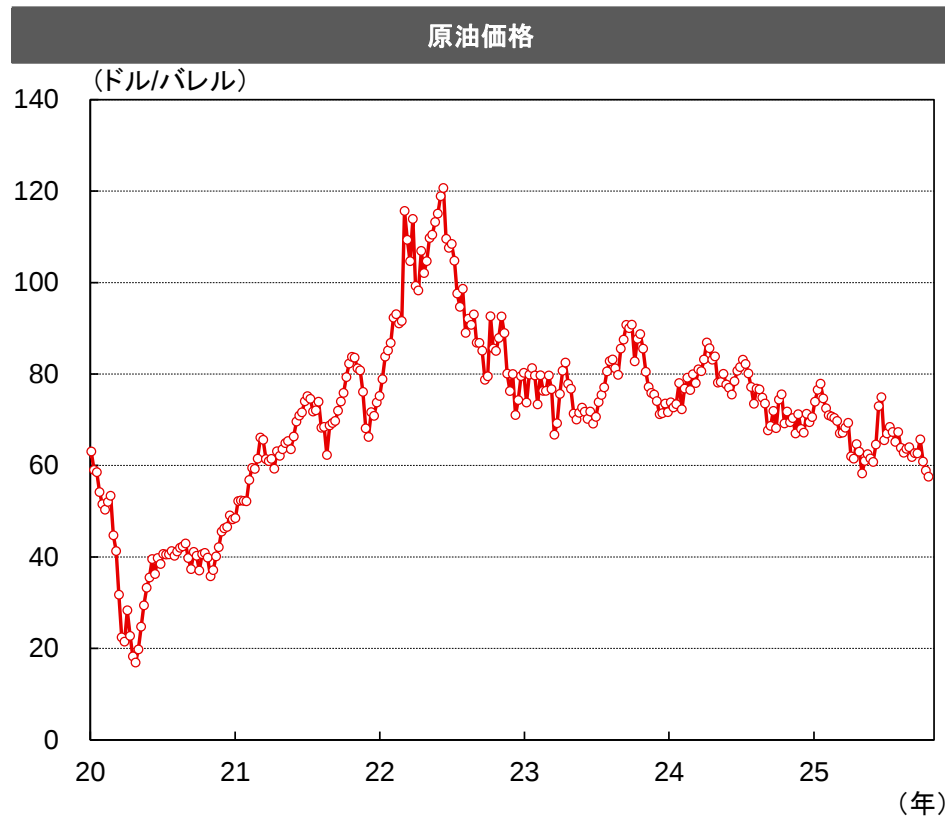


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。

(資料)国土交通省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

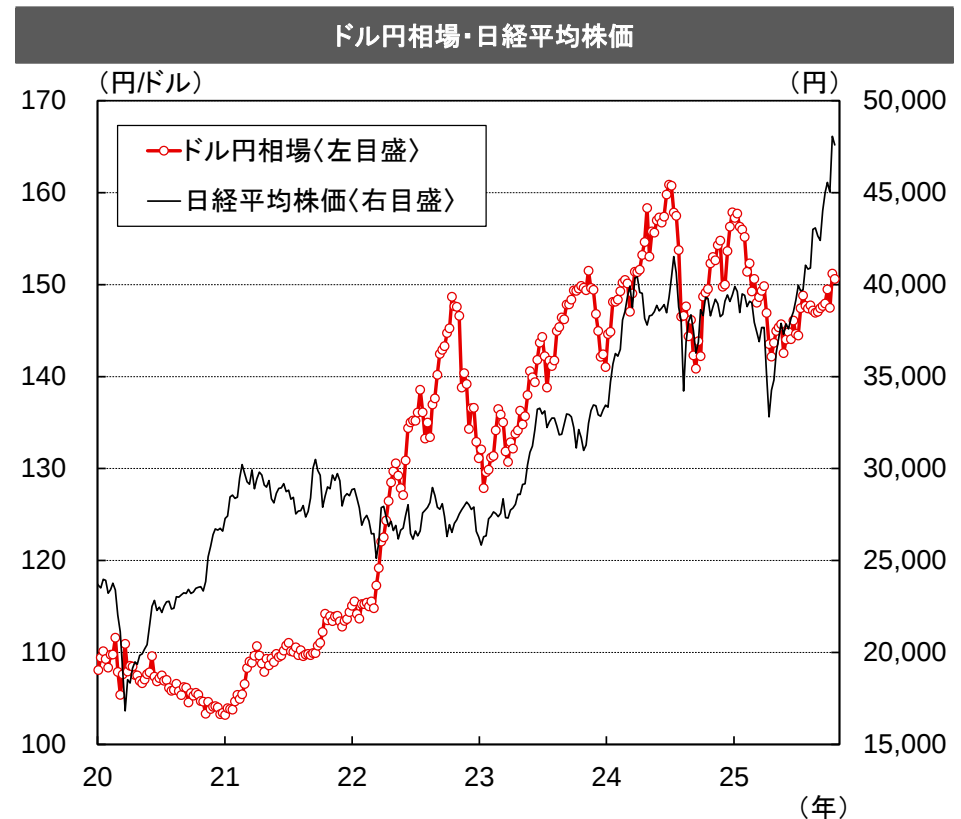
原油価格・円相場・株価

- 原油価格は、OPECプラスの増産ペース拡大による供給増のほか、米中貿易摩擦の悪化による需要減などが意識され60ドルを下回る水準で推移していたが、足元では米国がロシアの石油企業を経済制裁の対象に加えたことを受けて供給が減るとの懸念などから62ドル程度で推移。
- ドル円相場は、自民党総裁選以降、今後の政策を巡る思惑などから円安が意識されやすい展開が続く中で上下に振れつつ、足元では1ドル150円台前半で推移。
- 日経平均株価は、新政権による景気刺激的な財政・金融政策が企業業績に好影響を与えるとの期待感などから、足元4万円台後半で推移。



(注)『原油価格』はWTI先物。

(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成



(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名：株式会社三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室(名古屋)
〒460-8660 愛知県名古屋市中区錦3-21-24

照会先：中村 拓郎 e-mail：takurou_nakamura@mufg.jp